

<b>【技術の名称】</b> GT フープ －アプセットバット溶接による太径せん断補強筋－ －（改定1）	性能証明番号：GBRC 性能証明 第18-08号 改1 性能証明発効日：2022年5月27日 <b>【取得者】</b> 株式会社恵信工業
---	---

### 【技術の概要】

本技術は、場所打ち杭等鉄筋籠や建築躯体等のためのアプセットバット溶接を利用した帯鉄筋製作技術である。従来のバット溶接は、工場内作業が原則で、D16 までの細径が主な対象であるが、本技術は、屋外作業が対応可能な機材を揃えつつ、D25 までの太径が溶接可能なものである。

### 【改定の内容】

新規：GBRC 性能証明 第18-08号（2018年8月7日）

改定1：GBRC 性能証明 第18-08号 改1（2022年5月27日）

- ・技術名称を変更
- ・申込者1社を削除
- ・始業前点検項目を追加

### 【技術開発の趣旨】

場所打ち杭等鉄筋籠の製作のうち帯鉄筋については、工場製作品の現場納入も可能だが、運搬時の積載密度が小さく運賃が上昇すること、また発注者によっては加工前の鉄筋の現場材料検査を課すことなどから、現場製作が求められている。さらに、鉄筋締結金具による鉄筋籠製作では、帯鉄筋が単独で一体化していないことが原因と考えられる鉄筋籠崩壊事故が散見されている。本技術は、これらを解消するために帯鉄筋を一体化できるアプセットバット溶接技術として開発されたもので、太径に対応し、かつ現場加工が可能であり、帯鉄筋としての信頼性を向上するべく、溶接部の面接触を得るための切断方法、加工時のガイド等様々な工夫を加えている。

### 【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「GT フープ 製造要領書」に従って製造されたせん断補強筋の溶接継手は、「2015年版建築物の構造関係技術基準解説書」の解説に示された平成12年5月31日建設省告示第1463号に基づく「溶接継手性能判定基準」によるA級継手の性能を有する。



写真1 製作形状



写真2 機材設置状況

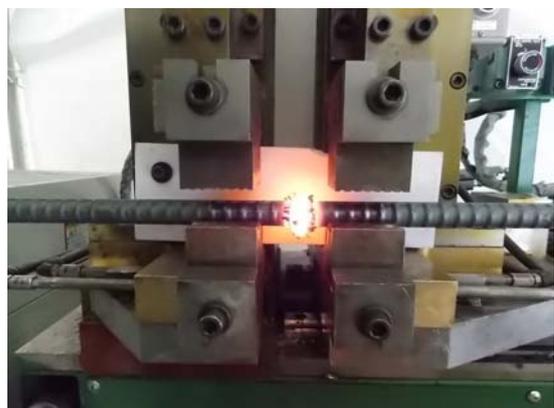


写真3 溶接状況

### 【本技術の問合せ先】

株式会社恵信工業 担当者：林 義信  
〒123-0845 東京都足立区西新井本町 5-4-5

E-mail : info@keishin-k.co.jp  
TEL : 03-3880-8101 FAX : 03-3880-8102